

# 林業成長産業化地域創出モデル事業の取り組み ～北海道網走西部流域地域～

網走西部流域森林・林業活性化協議会事務局

紋別市役所 産業部 農政林務課 林業振興担当

参事 中村 雅俊



# 網走西部流域の概要

## 各流域活性化協議会の構成

林業・林産業関係者

国有林

森林整備水  
準の向上

林業労働力  
の確保

林業・林産業  
の活性化

林業生産性  
の向上

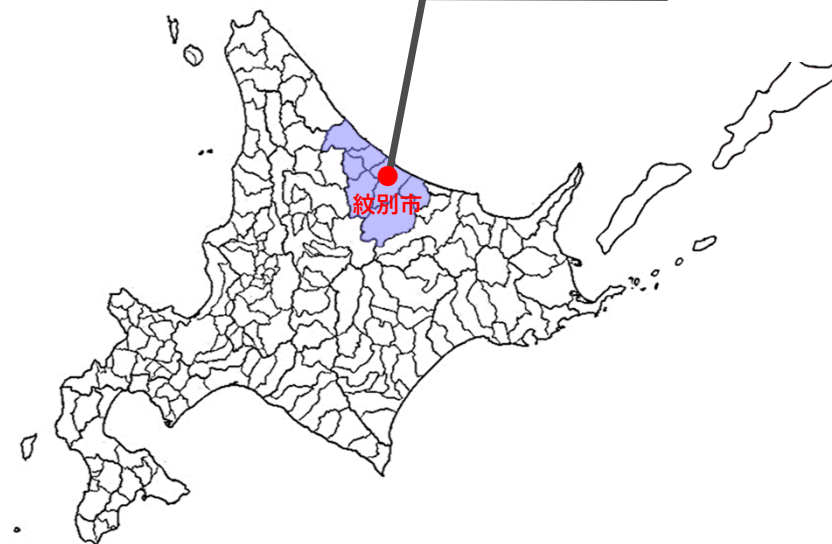
地域材の  
ブランディング

道有林

市町村

学術機関

網走西部流域



網走西部流域は、北海道のオホーツク海側の約中間地点に位置しておりまして、オホーツク総合振興局管内の遠軽町から湧別町を境として西側が網走西部流域となります。

平成5年に林業・林産業の活性化を目的として、各管内の林業・林産業関係者、国有・道有林、市町村、学術機関を構成員として設立し、「森林整備水準の向上」「林業労働力の確保」「林業生産性の向上」「地域材のブランディング」等に向け取組を進めております。

森林認証制度は流域の取り組みの一つとして平成15年頃から進めております。



# オホーツク海

## 網走東部流域

知床半島



流氷によって豊かな海の恵みを受け発展してきた地域でもあり、森の力と相まって 冬には多くの猛禽類、アザラシ、クリオネ等が流氷と伴にやってくる。



紋別市の面積：830.70km<sup>2</sup>

行政区域の8割は森林に囲まれ

山、川、海のある自然豊かなまち

人口約21,000人







海底階から見える  
ニシンの群



氷海展望塔 オホーツクタワー

流水砕氷船 ガリンコ号





# オホーツク海と流氷

オホーツク海は、地球上で最も赤道近くにある、凍る海です。なぜ日本海や太平洋が凍らず、この海域だけ流氷ができるのでしょうか。オホーツク海を覆う流氷の動きや、独特の海の秘密を国解します。

## 流氷と海水

「流氷」とは「海上を流れ、漂う氷」。簡単に言えば「氷塊」と区別して使われる。一般には、動きがかわらぬように海に漂う氷を「流氷」と呼ぶ。「海水が凍ってできた氷」は、専門的には「海氷」と呼ぶ。川や海の水が凍った「河氷」「結氷」、雪が氷河となって海に流れ込む「氷山」と区別される。オホーツク海の流氷のほとんどは、このようにしてできる。

アムール川

## 北半球の南限

南半球で凍結するのは南緯60度のあたりだが、北半球では北緯45度のあたり。ベーリング海やオホーツク海も凍る。オホーツク海が最も赤道近くに位置している。

## 流氷と北海道

道内では、秋津川に入る海流が初めて見え、これを「秋津川海流」と呼ぶ。秋津川海流は「流氷の日」と呼ぶ。流氷が来ると、海流が止まり、船が通れる水路もできた瞬間で「海明け」が宣言される。この瞬間、見えなわや毛ガニ漁、ウニ漁が始まる。

## オホーツク海に広がる流氷

新しい氷塊が北緯45度の海に到達する。オホーツク海の流氷のほとんどがこの瞬間で生まれる。

強い海流が流氷を押し、高圧にのって、成長しながらかたまり流氷になる。

近年、減少しつつあるが、1月中旬にはオホーツク海のほとんども凍る。その後、氷が溶けていく。1月中旬にはすべて氷が溶ける。

北緯45度の暖かい海水が流れるため、流氷は凍りにくい。

南下した流氷と北緯45度の暖かい海水が衝突、大きな氷塊になる。

海流による海氷に集まる。

日本海 凍らない

オホーツク海 凍らない

秋津川海流が北緯45度の海に到達する。流氷の多い年は、一部が秋津川海流に流れ込むこともある。

## 流氷の一生



4 多彩な氷  
氷塊の大きさや形状が異なる。ざらと滑らかな氷がある。



## 5 流氷の解氷と海明け

氷が近づき、気温が低下すればより上昇すると、流氷の成長が止まる。気温によって氷塊は少しずつ溶け、繋げながら沖合へ出る。

## 凍る海の秘密







紋別市オホーツクとっかりセンター



怪我をして保護されたアザラシ







# オホーツク紋別空港

羽田 ⇄ 紋別 1時間45分



# 森林認証取得の経過

## 紋別地域の認証取得にむけた取組

紋別地域の林業に対する危機的意識が高まる中、平成15年に緑の循環森林認証制度（SGEC）が創設されました。

紋別の林業・林産業において“木材のブランド化”により地域材へ“付加価値”を付けるためにどうすれば良いのか、何度も勉強会等が開催されました。

そして、この地域に合った森林認証制度であるSGECの取得に向け、行動が開始されました。



2003

平成 15 年

### 「紋別市林業・林産業に関する懇談会」における勉強会

構成/紋別市、雄武町、興部町、滝上町、西興部村

- ・各地で地域ブランドへの取組が活発化⇒林業のブランド化
- ・下川町のFSC森林認証取得が話題⇒紋別市で取組検討
- ・「緑の循環」認証会議から「出前勉強会」等の開催

2004

平成 16 年

### 林業関係者～「認証取得決定」・「取組開始」

- ・懇談会構成員が所有する森林でSGEC認証取得
- ・「紋別市」、「国有林」、「大企業有林」へ取組要請
- ・林業関係者、市民を対象に講演会、勉強会の開催



# 2005

平成 17 年

## 林業界に要請、情報収集そして大企業取得へ

- ・紋別市としての取組が決定
- ・「王子G」、「日本製紙G」が認証を取得
- ・「国有林」、「道有林」、「住友林業」に取得要請



# 2006

平成 18 年

## 「緑の循環森林認証で地域おこし協議会」設置

構成/紋別市内各界各層～23団体

## 「網走西部流域森林・林業活性化協議会」で取組

構成/紋別市、雄武町、興部町、滝上町、西興部村、遠軽町、（旧）上湧別町、湧別町

「紋別市有林」、「住友林業」、「オホーツク中央森林組合所有林」で森林認証取得





2007

平成 19 年

「国有林」、「道有林」、「滝上町有林」で森林認証取得



しかし、木材需要が高まってきた“カラマツ”は、一般所有者である私有林に多くあり、認証材の安定供給に課題がありました。

そこで、森林組合が一般所有者と“長期施業委託計画”を結び、一般民有林の山も認証がされる体制が整えられました。

2009

平成 21 年

「オホーツクフォレストネットワーク」（協議会）による森林認証取得

構成/オホーツク中央森林組合、雄武町森林組合、興部町、西興部村、雄武町

※森林組合が事務局となり、個人、会社、団体と長期施業委託契約を結び、事務局から認証会議へ一括申請を行う。

※私有林の取得費用は、市町村と森林組合が負担し、個人所有者の負担を無くした。

「滝上町森林組合グループ」による森林認証取得

構成/滝上町森林組合、林業・木材業者

14



認証率

77%

認証面積 293,757ha

日本最大の  
認証エリア誕生



NOW

現在

市町村別の取得面積（千ha）

所管の別	森林面積	F S C			S G E C				
		市町村有林	民有林	計	国有林	道有林	市町村有林	民有林	計
斜里町	57.2				50.0			1.6	51.7
清里町	28.8				27.8				27.8
小清水町	14.1				11.4			0.2	11.6
大空町	13.7				3.1				3.1
網走市	16.0				5.3		0.0	1.4	6.7
美幌町	26.9	1.2	1.3	2.5	10.1	4.0		0.4	14.5
津別町	61.4				28.1	24.8	1.4	1.6	55.9
北見市	94.4				60.1	1.9	3.7	1.4	67.1
訓子府町	9.2					6.0	0.8	0.1	7.0
置戸町	44.7				32.0	5.1	2.0	2.3	41.4
佐呂間町	22.8				15.3				15.3
遠軽町	117.2				99.9		3.6	0.7	104.2
湧別町	27.7				6.3			3.7	10.0
紋別市	65.7				25.9		2.5	31.1	59.5
滝上町	68.6				58.5		2.8	6.1	67.4
興部町	25.6					10.3	1.4	10.7	22.3
西興部村	27.5					22.6	1.2	1.8	25.6
雄武町	47.4					33.3	2.7	4.7	40.8
網走東部流域	389.2	1.2	1.3	2.5	243.2	41.9	7.9	9.2	302.2
網走西部流域	379.7				190.6	66.3	14.2	58.7	329.8
合計	768.9	1.2	1.3	2.5	433.8	108.2	22.1	67.9	632.0

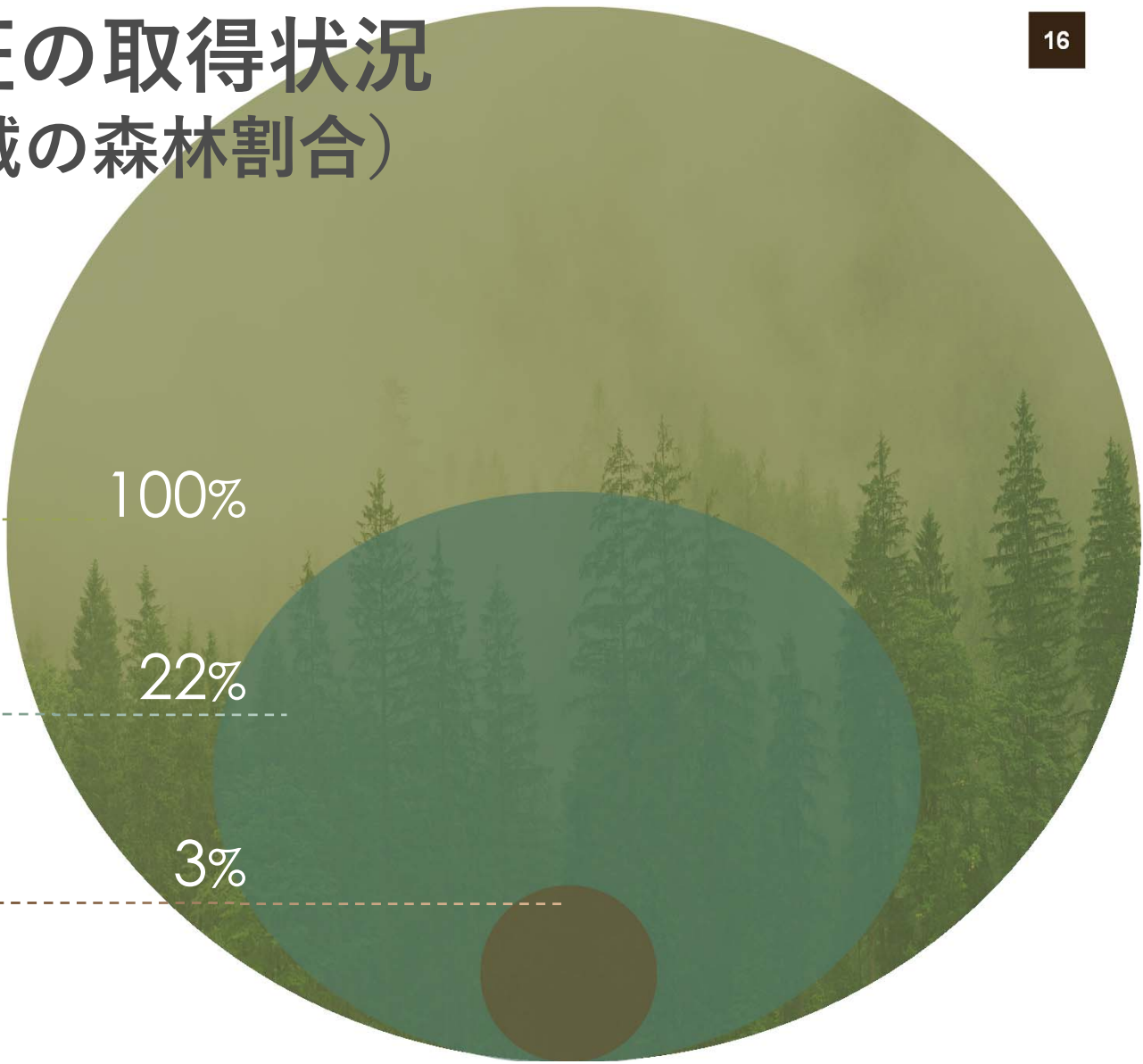
オホーツク総合振興局林務課調べ（令和4年3月時点）

# 東西流域の森林認証の取得状況 (全国に占める東西流域の森林割合)

日本全国の森林面積  
2,494 万ha  
令和2年度森林林業白書より

北海道の森林面積  
554 万ha  
令和元年度北海道林業統計より

網走東西流域の森林面積  
77 万ha  
令和元年度北海道林業統計より





# 東西流域の森林認証の取得状況

## (全国に占める東西流域の認証林の割合)

日本全国の認証林面積  
253 万ha

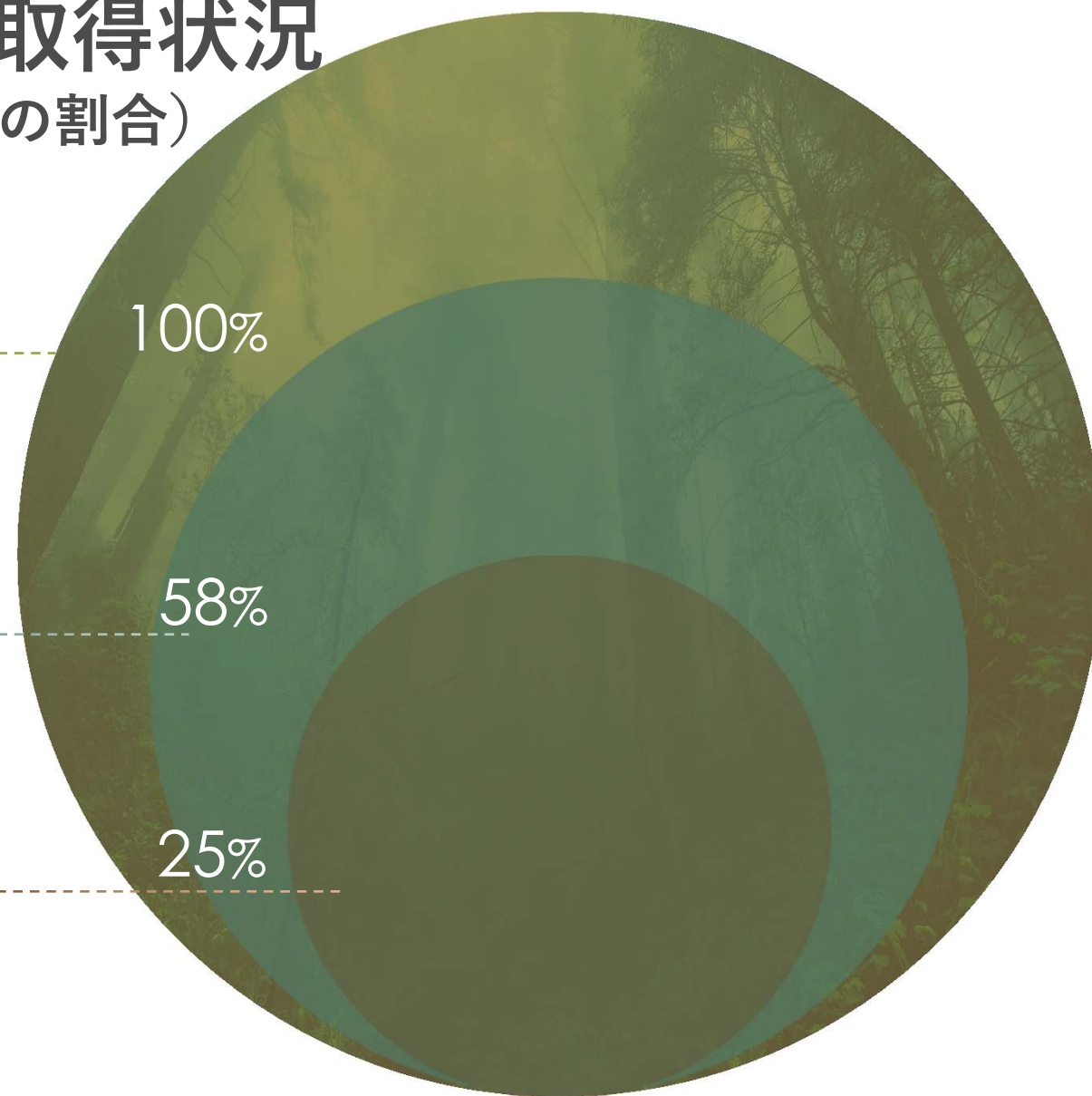
令和2年度森林林業白書より

北海道の認証林面積  
145 万ha

令和2年度北海道森林づくり白書より

網走東西部流域の認証林面積  
64 万ha

令和2年度オホーツク総合振興局林務課調べ



# ○北海道内の森林認証取得状況

北海道の森林管理認証面積は、

- ・全国の森林管理認証面積の約58%
- ・道内の森林面積の約26%を占めています。

## 【全道一円】

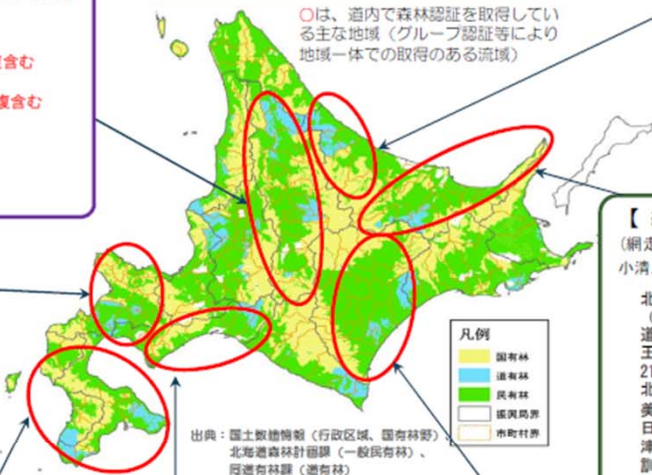
王子グループ	124,631 ha (SGEC)	千歳林業㈱	17,983 ha (SGEC)
日本製紙㈱	43,411 ha (SGEC)	三菱マテリアル㈱	11,431 ha (SGEC)
三井物産㈱	35,692 ha (FSC・SGEC)	港エステート㈱	4,935 ha (SGEC)
住友林業㈱	18,199 ha (SGEC)	山産業㈱	4,766 ha (SGEC)

【令和4年3月末日時点】  
森林計画課調べ

※下記流域以外の道内各地に各社合計 143,131 ha

北海道内の森林管理認証面積  
約145.1万ha

○は、道内で森林認証を取得している  
主な地域（グループ認証等により  
地域一体での取得のある流域）



出典：国土数値情報（行政区画、国有林野）  
北海道森林計画課（一般民有林）、  
民間有林（道有林）

## 【上川流域】 合計 222,576 ha （※合計に重複分は除く）

（旭川市、士別市、名寄市、富良野市、鹿越町、比布町、東神楽町、美瑛町、東川町、当麻町、愛別町、上川町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町 計23市町村）

道有林（上川北部・上川南部管理区）	118,430 ha (SGEC)
上川森林認証協議会	89,598 ha (SGEC) ※FSCとの重複含む
王子グループ（再掲）	11,169 ha (SGEC)
下川町 グループ認証	5,545 ha (FSC) ※SGECとの重複含む
日本製紙㈱（再掲）	1,432 ha (SGEC)
港エステート㈱（再掲）	1,000 ha (SGEC)
千歳林業㈱（再掲）	272 ha (SGEC)
三井物産㈱（再掲）	154 ha (FSC・SGEC)
山産業㈱（再掲）	19 ha (SGEC)

## 【後志流域】 合計 15,436 ha

（島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都町、喜茂別町、京極町、倶知安町、共和町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、小樽市 計19市町村）

王子グループ（再掲）	5,258 ha (SGEC)
千歳林業㈱（再掲）	4,279 ha (SGEC)
ようてい水源の森林づくり推進協議会	2,605 ha (SGEC)
日本製紙㈱（再掲）	1,594 ha (SGEC)
三菱マテリアル㈱（再掲）	909 ha (SGEC)
三井物産㈱（再掲）	612 ha (FSC・SGEC)
港エステート㈱（再掲）	163 ha (SGEC)
山産業㈱（再掲）	16 ha (SGEC)

## 【渡島・檜山流域】 合計 179,708 ha

（江差町、上ノ国町、厚沢部町、せたな町、今金町、函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町 計16市町村）

道有林（渡島東部・渡島西部管理区）	83,807 ha (SGEC)
はこだて森林認証推進協議会	78,940 ha (SGEC)
日本製紙㈱（再掲）	5,549 ha (SGEC)
三菱マテリアル㈱（再掲）	3,428 ha (SGEC)
千歳林業㈱（再掲）	3,301 ha (SGEC)
三井物産㈱（再掲）	2,359 ha (FSC・SGEC)
山産業㈱（再掲）	1,785 ha (SGEC)
王子グループ（再掲）	539 ha (SGEC)

## 【胆振流域】 合計 57,440 ha

（豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町、伊達市、登別市、白老町、安平町、厚真町、むかわ町、苫小牧市 計10市町村）

北海道森林管理局 （胆振東部森林管理署 むかわ町種別地区）	20,252 ha (SGEC)
道有林（胆振管理区）	12,934 ha (SGEC)
循環の森づくり推進協議会	7,337 ha (SGEC)
三井物産㈱（再掲）	6,265 ha (FSC・SGEC)
王子グループ（再掲）	3,311 ha (SGEC)
千歳林業㈱（再掲）	2,172 ha (SGEC)
三菱マテリアル㈱（再掲）	1,857 ha (SGEC)
日鉄鉱業㈱	1,222 ha (SGEC)
日本製紙㈱（再掲）	1,154 ha (SGEC)
山産業㈱（再掲）	876 ha (SGEC)
港エステート㈱（再掲）	60 ha (SGEC)

## 【網走西部流域】 合計 329,827 ha

（紋別市、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町 計7市町村）

北海道森林管理局 （網走西部森林管理署・西紋別支署）	190,600 ha (SGEC)
道有林（網走西部管理区）	66,268 ha (SGEC)
林-ツクワレストネットワーク	29,285 ha (SGEC)
住友林業㈱（再掲）	15,828 ha (SGEC)
王子グループ（再掲）	13,061 ha (SGEC)
日本製紙㈱（再掲）	5,349 ha (SGEC)
滝上町森林組合グループ	5,259 ha (SGEC)
滝上町	3,086 ha (SGEC)
佐藤木材工業㈱	622 ha (SGEC)
千歳林業㈱（再掲）	256 ha (SGEC)
港エステート㈱（再掲）	213 ha (SGEC)

## 【網走東部流域】 合計 304,636 ha

（網走市、北見市、大空町、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、訓子府町、置戸町、佐呂間町 計11市町村）

北海道森林管理局 （網走中部・網走南部森林管理署）	243,149 ha (SGEC)
道有林（網走東部管理区）	41,860 ha (SGEC)
王子グループ（再掲）	5,308 ha (SGEC)
21世紀循環の森づくり推進協議会	3,790 ha (SGEC)
北見市	3,294 ha (SGEC)
美幌町 グループ認証	2,534 ha (FSC)
日本製紙㈱（再掲）	1,890 ha (SGEC)
津別町	1,351 ha (SGEC)
訓子府町	1,255 ha (SGEC)
千歳林業㈱（再掲）	140 ha (SGEC)
港エステート㈱（再掲）	46 ha (SGEC)
三井物産㈱（再掲）	19 ha (FSC・SGEC)

## 【十勝流域】 合計 197,797 ha

（士幌町、鹿追町、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、壺町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、音更町、上士幌町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、帯広市 計19市町村）

とちか森林認証協議会	129,685 ha (SGEC)
道有林（十勝管理区）	45,163 ha (SGEC)
王子グループ（再掲）	8,660 ha (SGEC)
ニッパ㈱	6,676 ha (SGEC)
三井物産㈱（再掲）	4,420 ha (FSC・SGEC)
日本製紙㈱（再掲）	2,743 ha (SGEC)
千歳林業㈱（再掲）	450 ha (SGEC)

※北海道HPより



# 森林認証取得 森林認証制度の期待されるメリット

## 森林所有者

- 認証山林の価格にプレミア  
→所得の向上
- 所有森林の確認と所有者として再認識  
→森林の管理意識、施業技術の向上、  
施業の適正化

## 各企業

- 環境面や社会面のリスクの減少
- 管理者と従業員のモラルや自覚・技術向上  
→企業イメージ向上、企業体質強化

生物多様性や土壌及び  
水資源の保全と維持、  
生態系の生産力の維持  
などの他に期待される  
メリット

## 木材業界

- 市場シェア獲得へ期待
- 製品の差別化
- 付加価値化
- 流通・加工過程の信頼性の向上  
→認証材の優先購入、利用・生産性の向上、  
製品のプレミアム化

## 森林組合

- 認証取得  
→組合員の加入促進
- 長期施業（経営）受委託契約  
→経営計画の促進、安定的施業の確保  
提案型集約施業の促進・拡大

# 世界の主な森林認証制度



1993年に創設された「世界統一基準の認証システム」  
北米やヨーロッパ等で取得を拡大し2019年12月現在で  
82ヵ国、2億74万ha



1998年に創設されてた「地域認証の連合体」  
ヨーロッパやアメリカ、カナダ、マレーシアなど世界各国  
が加盟。  
近年はアジアや南米等の国々へ相互認証を拡大し、2019年  
6月現在で51ヵ国、約3億ha



2003年に創設の国際性と従来の森林計画制度を活かして構  
築された日本独自の制度。  
日本の林業実態に見合った独自の制度として、環境保全と  
木材生産の両立を目指す。

2016年に  
相互  
認証



# CoC認証取得企業

## SGEC-CoC取得状況（R2.3.31現在）

No.	流域	事業体名称	認定番号	認定対象事業
-	-	佐藤木材工業グループ(構成員4社)	SGSP-W047	-
1	西部	佐藤木材工業株式会社	-	素材生産・販売、製材、チップ生産、製品販売
2	西部	やまぎ協同組合	-	集成材加工、販売
3	西部	(有)伊藤木工場	-	製材・木材加工・製品販売
4	西部	やまぎ林業(株)	-	素材生産・販売
-	-	北見地方SGECネットワーク(構成員36社)	SGSP-W014	-
5	東部	北見第一木材(株)	-	製材、木材加工、木材・製品販売
6	東部	ルベシベ木材工業(株)	-	製材、木材加工、木材・製品販売
7	東部	(株)達磨	-	素材生産・販売、土木、造園
8	東部	泰隆木材(株)	-	素材生産・販売
9	東部	北見チップ(株)	-	素材生産、製材、木材加工、木材・製品販売
10	東部	北岸木材工業(株)	-	素材生産、木材加工、木材・製品販売
11	東部	御留森木工(株)	-	集成加工、木材加工、木材・製品販売
12	東部	(株)ワルニ西木材店	-	製材、木材・製品販売
13	東部	大澤木材(株)富島工場	-	素材生産、製材、木材加工、木材・製品販売
14	東部	協同組合オホークラッドピア	-	集成加工、木材加工、木材・製品販売
15	東部	協同組合ウツィノワス山1号	-	製材、プレカット、木材・製品販売
16	東部	(株)達磨組	-	素材生産・販売、建設、土木
17	西部	丸太産業(株)	-	木材加工、木材・製品販売
18	西部	(株)廣山興林	-	素材生産・販売
19	西部	井上産業(株)	-	素材生産、製材、木材・製品販売、建設、土木
20	西部	協同組合オホークラッドアツク	-	集成加工、木材加工、木材・製品販売
21	西部	江本木材産業(株)	-	素材生産、製材、木材・製品販売
22	西部	(有)丸貝林工	-	製材生産・販売、ベレット製造・販売
23	西部	加藤木材工業(株)	-	製材、木工、木材・製品販売
24	西部	森上運輸(株)	-	素材生産、木材加工、木材・製品販売
25	西部	(株)グリーンたきのえ	-	素材生産・販売
26	西部	島中建設(株)	-	建設
27	西部	(株)金原住建	-	建設
28	西部	矢口産業	-	素材生産・販売、土木
29	西部	興隆地区森林育成協同組合	-	素材生産・販売
30	西部	(株)エコ・グリーンおこっぺ	-	素材生産、木材加工、木材・製品販売
31	西部	王子フォレストリー(株)道北出張所(専攻事業所)	-	素材生産・販売
32	東部	野村木材工業(株)	-	製材、木材加工、木材・製品販売
33	西部	大原建設(株)	-	建設、土木工事
34	西部	芥木建設(株)	-	総合建設業／土木、建築、建築、土木工事
35	西部	(株)菊池組	-	建設、土木工事
36	東部	置戸地区林産協同組合	-	素材生産・販売
37	東部	株式会社中村緑木	-	木材加工、木材・製品販売
38	東部	北見地方木材協同組合連合会	-	木材販売業
39	東部	(有)佐藤製材工場	-	素材生産・販売、製材、木材・製品販売
40	東部	相富木材加工(株)	-	木材加工、木材・製品販売
-	-	21世紀協会の森づくり推進協議会(構成員8社)	SGSP-W035	-
41	東部	新生紀協会の森づくり推進協議会	-	素材生産・販売、製材・木材加工、木材・製品販売
42	東部	熱海産業(株)	-	素材生産・販売
43	東部	(有)三好産業	-	製材・木材加工、木材・製品販売
44	東部	(有)三好木材店	-	素材生産・販売
45	東部	(有)ワグアート宮本	-	製材・木材加工、木材・製品販売

No.	流域	事業体名称	認定番号	認定対象事業
46	東部	(有)安達建設	-	建設業(建築)
47	東部	北池工業(株)	-	建設業(建築)
-	-	オホーツクSGEC建築推進ネットソー(構成員12社)	SGSP-W008	-
48	西部	北栄建設産業(株)	-	建築設計・施工、土木
49	西部	北一土建(株)	-	建築設計・施工、土木
50	西部	(株)川村建設	-	建築設計・施工、土木
51	西部	高榮建設(株)	-	建築設計・施工、土木
52	西部	(株)大和	-	建築設計・施工、土木
53	西部	(有)板倉建設	-	建築施工
54	西部	北出建設(株)	-	建築施工、土木
55	西部	(株)丸見列田建設	-	建築施工、土木
56	西部	成路上商店	-	建築施工
57	西部	(有)若建設	-	建築施工、土木
58	西部	島田建具製作所	-	建具・家具、木工品
59	西部	若田上商店	-	-
-	-	北見森づくり協議会(構成員6社)	JAFA-W138	10/12.01取得
60	東部	北見森づくり協同組合	-	素材生産業及び同販売業
61	東部	津別地区林業協同組合	-	素材生産業及び同販売業
62	東部	国安産業(株)	-	素材生産業及び同販売業
63	東部	(有)長良木材店	-	素材生産業及び同販売業
64	東部	加賀谷木材(株)	-	素材生産業及び同販売業、木材・木製品製造業及び同販売業
65	東部	森谷林産(株)	-	素材生産業及び同販売業、木材・木製品製造業及び同販売業
-	-	丸太産業株式会社(構成員7社)「うち管門3号」	JAFA-W133	10/12.01取得
66	東部	丸太産業株式会社	-	合板製造業及び同販売業
67	東部	丸太産業西津別工場	-	合板製造業及び同販売業
68	東部	津別単独協同組合	-	単板製造業及び同販売業
-	-	紋別SGEC推進ネットソー	SGSP-W044	木材販売業／立木、素材、木材製品・木工製品等の販売
69	西部	紋別木材協同組合	-	-
70	西部	鈴木建設株式会社本社・エプリーハウス	-	-
71	西部	紋別林産加工協同組合	-	針葉樹一般製材、針葉樹集成材
72	東部	北海道プレカットセンター株式会社(北見工場)	SGSP-W009	-
73	西部	滝上町森林組合	JAFA-W088	素材生産・販売
74	東部	北見広域森林組合	JAFA-W140	素材生産業及び同販売業、木材・木製品製造業及び同販売業
75	東部	美幌町森林組合	SGSP-W067	-
76	東部	網走地区森林組合	JA-W042	-
77	西部	横内林業株式会社紋別事務所	SGSP-W050	カマアノドマツ製材、チップ製造
78	東部	佐藤林業株式会社	SGSP-W006	-
79	東部	山上木工株式会社	JAFA-W146	-
80	東部	株式会社 清水建設	JAFA-W145	-
81	東部	株式会社 上郷上商店	JAFA-W146	-
82	西部	土子木材緑化株式会社(北海道支店(運輸営業所))	JAFA-W025	-
83	東部	北海道森林組合連合会(北見営業所)	SGSP-W054	-
84	東部	鶴林株式会社	JA-W004	-
85	西部	住友林業株式会社(紋別山林事業所)	JA-W045	-
86	東部	株式会社佐藤製材工場	SGSP-W135	-

## FSC-CoC取得状況（R1.10.23現在）

No.	流域	事業体名称	認定番号	認定対象事業
1	東部	北幌町森林組合	SGSHK-COC-003521	素材生産、製材
2	東部	協同組合オホークラッドピア	SGSHK-COC-003586	集成材
-	-	北幌、本郷クラブ(構成員7社)	SGS-COC-003552	-
3	東部	(有)山土木工	SGS-COC-003552-C	木材加工
5	東部	(株)宮田建設	SGS-COC-003552-F	建築・土木
6	東部	松下工芸	SGS-COC-003552-G	-
7	東部	町島工務店(有)	SGS-COC-003552-H	建築
8	東部	(株)高橋工務店	SGS-COC-003552-T	建築
10	東部	おいで家具	SGS-COC-003552-N	-
12	東部	(有限会社)山岸工務店	SGS-COC-003553-M	-
14	東部	(株)佐藤製材工場	SGSHK-COC-010061	製材、プレカット加工
15	西部	清盛紙工印刷株式会社 通称工場	SGSHK-COC-010003	-

出展：網走東部・西部流域活性化協議会Webサイト

# CoC取得企業 93社

- ・ 素材（丸太）生産
  - ・ 製材
  - ・ 集成材・合板
  - ・ プレカット
  - ・ 建築・土木
  - ・ 家具・クラフト など
- 幅広い業種で取得



# これからの森林認証

我が国の森林の循環利用とSDGsとの関係

- 森林そのものが様々なSDGsに貢献。さらに森林資源・森林空間の利用を通じ、様々なSDGsに貢献。
- これらの利用は、林業・木材産業を通じ、森林の整備・保全に還元されるという大きな循環につながっている。



## 基調講演や事例紹介を通じて

- ・ 認証材の有効性を実感
- ・ 認証材の活用検討

注1：アイコンの下文言は、期待される主な効果等を記載したものであり、各ゴールの解説ではない。

注2：このほか、ゴール1は森林に依存する人々の極度の貧困の撲滅、ゴール10は森林を利用する権利の保障、ゴール16は持続可能な森林経営を実施するためのガバナンスの枠組みの促進等に関連する。ここに記載していない効果も含め、更にSDGsへの寄与が広がることが期待される。(出展：令和元年度林野庁 森林林業白書)

# 認証材の普及に向けて

---

3

# 認証材の普及にむけて

情報発信 > 住民および全国へ

「広報もんべつ」、  
「ホームページ」で活動を報告

## 講演会、シンポジウム開催

- ・ 森から海の連環を考える（平成20年）
- ・ 北方圏国際シンポジウム（平成20年～）
- ・ SGEC森林認証勉強会（平成20年～）
- ・ 低コスト施業システムの普及を考える現地検討会（平成21年）
- ・ SGEC森林認証セミナーin林-ツカ（平成22年）（主催：緑の循環森林認証会議）

情報発信

## 認証見本林の設置

紋別市有林内（八十士団地・大山団地）

## 「認証林」の表示・設置

認証森林の表示板の統一



# 認証材の普及にむけて

情報発信 > 講演会、シンポジウム開催

## 森から海の連環を考えるシンポジウム

平成20年（約650名参加）

森の林業・里の農業・海の漁業が揃う紋別市にとって“森から海への連環”は地域活性化に向けた取り組みの出発点であり、「森林認証エリア日本一」を多くの人々と供にお祝いし、全国にアピールするシンポジウムとなりました。



## SGEC森林認証セミナーinオホーツク

平成22年（約150名参加）

全国のSGEC取得状況及び流通における課題について意見が出されました。

また、現状はSGEC材に付加価値はまだ付いていないが、今後、十分に付加価値を付けられる可能性についても意見が出されました。



# 認証材の普及にむけて

情報発信 > 見本林の設置



大山見本林内に設置した遊歩道、市民に親しんでもらう工夫



SGEC認証見本林を設置し、看板を設置し、見学者や住民にアピール  
(合計4箇所を設置済み)



八十士に設置した看板  
見本林全てに、この看板を設置



# 認証材の普及にむけて

## 地産地消の取組

### 「公共工事」での 認証材優先使用

- 内容
  - 市発注の「土木工事」、「建築工事」への認証材使用依頼
  - 国営・道営事業への認証材使用要請  
(乳牛哺育・育成預託牧場 建設事業)
  - 木造公共施設の建築  
(上渚滑診療所新築工事)  
(大山公営住宅建設－80戸建設)  
(花のサロン (オホーツク流氷公園内)  
(医師滞在共同住宅工事) →住宅見学会開催  
(紋別公園管理棟・トイレ)  
(紋別市立保育所・児童館)
- 入札案内
- 工事仕様書に明記
- 当面/農業・公園施設への使用要請
- 『紋別市SGEC認証材利用促進取組方針』の策定

### 認証材活用 住宅助成事業

- 対象：市内のSGECの認定工務店・顧客
- 条件：認証材を5㎡以上の使用

#### 新築・増築住宅への助成

- 助成額：認証材1㎡あたり5万円  
内装材1㎡あたり5千円

平成26実績	11 棟	9,037 千円
平成27実績	11 棟	11,349 千円
平成28実績	13 棟	11,210 千円
平成29実績	8 棟	8,235 千円
平成30実績	5 棟	4,192 千円
令和 1 実績	10 棟	8,825 千円
令和 2 実績	8 棟	7,903 千円
令和 3 実績	6 棟	5,708 千円

### 紋別市地域材 利用推進方針

平成24年4月1日施行

公共建築物等における  
木材の促進に関する法律  
(平成22年10月1日施行)



# 認証材の普及にむけて

## 地産地消の取組 ＞ 認証材の利用

平成19年から紋別市沼の上に建てられている木造牛舎施設群には、カラマツの認証材が使用されています。生後3日の子牛から初産分娩22月齢の牛を預託し、1,410頭まで預託可能。

### オホーツクはまなす農協哺育・育成牧場（道営草地整備事業）

事業年度：平成19～平成24年度

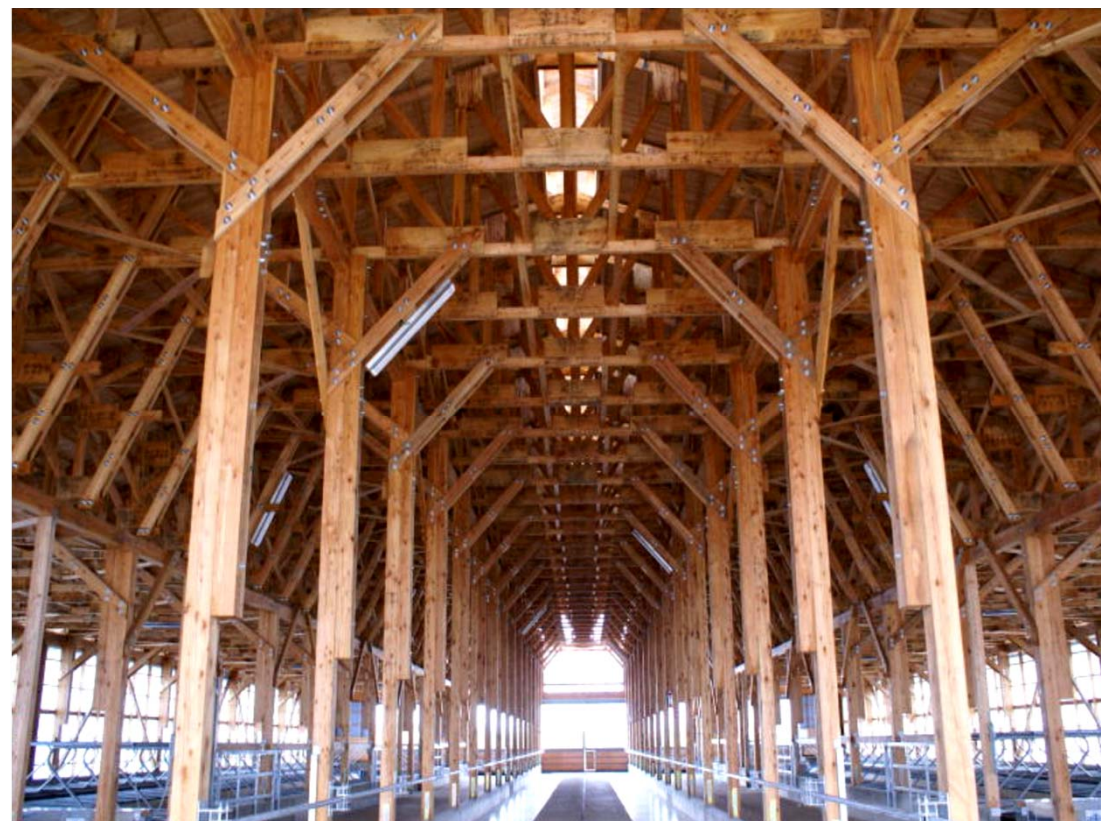
場所：紋別市小向

面積：12,356㎡（16棟）

認証材使用量：1,173㎡（カラマツ無垢材）

### 施設概要

哺育舎 2棟842㎡、育成舎8棟10,194㎡、病畜舎1棟92㎡、  
飼料調整庫1棟110㎡、敷料庫1棟140㎡、堆肥舎2棟1,160㎡ 他





# 認証材の普及にむけて

地産地消の取組 > 認証材の利用



平成22年  
建設

休日夜間急病センター医師滞在共同住宅

認証材使用量：認証材 18㎡  
内装材 126㎡



平成23年  
建設

休日夜間急病センター医師滞在共同住宅

認証材使用量：認証材 21.4㎡  
内装材 134.9㎡



ワンウェイフレーム

認証材使用量：認証材 7.8㎡  
内装材 176.5㎡

# 認証材の普及にむけて

地産地消の取組 ＞ 認証材の利用

平成22年建設

花のサロン（オホーツク流氷公園内）

認証材使用量：構造材 22.4 m<sup>3</sup>

羽目板 29.8 m<sup>2</sup>



平成23年建設

紋別公園管理棟・トイレ

認証材使用量：構造材 14.5 m<sup>3</sup>

羽目板 102.2 m<sup>2</sup>





# 認証材の普及にむけて

地産地消の取組 > 認証材の利用



平成26年建設

紋別市立保育所・児童館 認証材使用量：295.05 m<sup>3</sup>

# 認証材の普及にむけて

地産地消の取組 ＞ 認証材の利用

平成30年建設

西紋別こども発達支援センター・ステップ  
(旧紋別市幼児療養センター)

認証材使用量： 93 m<sup>3</sup>



令和2年建設

海洋交流館（ガリンコ号発着場）

認証材使用量：間仕切り、マルチボックス 2 m<sup>3</sup>



# 認証材の普及にむけて

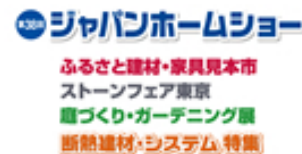
## 販路拡大の取組

### 地域でのPR

- ✓ 「認証森林」/日本最大の認証エリア
- ✓ 「森林認証材の普及」
  - ・シンポジウムの開催
  - ・森林認証材利活用推進事業（住宅建設補助）
  - ・森林認証バスツアー
  - ・公共施設等での利活用
  - ・オホーツク産森林認証材カタログの作成

### ブランド化、PR、 情報発信、市場開拓

- ✓ 大消費地に向けた販路拡大  
（東京都、札幌市）
  - ・北海道サミット記念環境総合展への出展（札幌ドーム）
  - ・北海道庁ロビーでの認証材展示（北海道庁）
  - ・「住友林業㈱との連携強化」  
「認証材モデル・ハウス」（札幌市）  
「森林認証の家」建設・販売
  - ・Japan Home and Building Showへの出展（東京都）
  - ・東京都港区との連携（ちいき百貨）
  - ・森林認証材首都圏普及モデル事業



### みなとモデル二酸化炭素 固定認証制度

- ✓ 港区内の公共施設・民間建築物に、協定自治体の木材を使うことにより地球温暖化防止に貢献する
- ✓ 5000㎡以上の建物に対し、延べ床面積1㎡につき 0.001㎡以上の木材を使うことを規定





# 認証材の普及にむけて

販路拡大の取組 > ジャパンホームショーへの出展

催事名 『Japan Home & Building Show 2022』 (社)日本能率協会主催

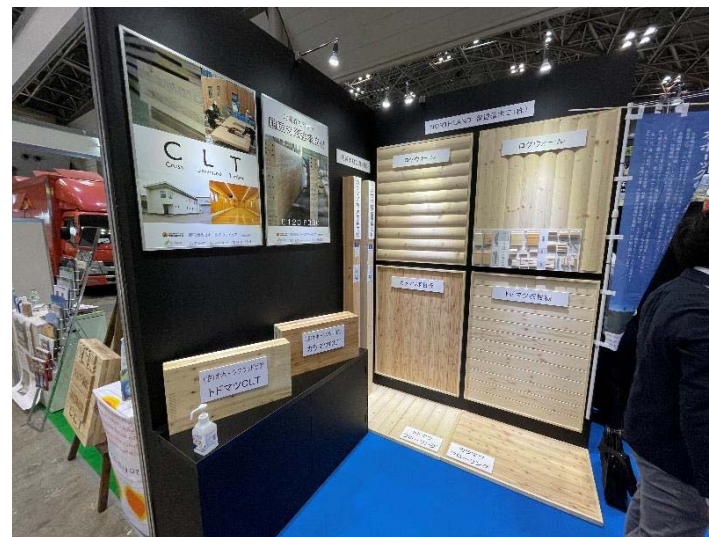
期 日 令和4年10月26日～28日

場 所 東京ビックサイト (有明:東京国際展示場)

参加業者 ① 佐藤木材工業(株) (紋別市) ② (協) ホーヅクウッドピア (北見市)  
③ 留辺蘂木工(株) (北見市) ④ 紋別木材協同組合

内 容 カラマツ・トドマツ集成材を構造材に使用したブースを設営した。  
また、森林認証製品を使って壁・床材、柱等を展示し、首都圏等の公共施設等でのオホーツク産森林認証材の活用をPRした

来場登録者数 12,235名



# 認証材の普及にむけて

販路拡大の取組 WOODコレクションへの出展

催事名 『WOODコレクション（モクコレ）』 東京都主催

期 日 令和元年12月10日～11日

場 所 東京ビックサイト（有明：東京国際展示場）

参加業者 ①（協）ホーヅウッドピア（北見市）  
②丸玉木材㈱（津別町） ③紋別木材協同組合

内 容 森林認証製品を展示し、首都圏等の公共施設等でのオホーツク産  
森林認証材の活用をPRした

来場者数 約4,200名



# 認証材の普及にむけて

販路拡大 > 東京都港区との取組について



2009

平成 21 年

みなと森と水サミット2009【7自治体参加】

1 月 21 日

2010

平成 22 年

みなと森と水サミット2010【15自治体参加】

2 月 17 日

2011

平成 23 年

みなと森と水サミット2011【23自治体参加】

2 月 9 日

- ・ 23自治体と「間伐採を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結
- ・ 9自治体と「間伐採を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結
- ・ 「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」スタート

7 月 8 日

10 月 1 日



2012

平成 24 年

## みなと森と水サミット2012【47自治体参加】

2月8日

- ・ 15自治体と「間伐採を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結
- ・ 16自治体と「間伐採を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結

10月31日

2013

平成 25 年

## みなと森と水サミット2013【63自治体参加】

3月18日

- ・ 6自治体と「間伐採を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結

2014

平成 26 年

## みなと森と水サミット2014【69自治体参加】

2月6日

NOW  
現在

# 認証材の普及にむけて

販路拡大の取組 > 東京都港区との取組について > みなとモデル二酸化炭素固定認証制度

## 概要

港区内の公共施設・民間建築物に国産材の使用を促し、その使用量に応じた二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）固定量を港区が認証する制度。平成23年10月1日スタート。

特に、港区と「間伐材を始めとする国産材の活用促進に関する協定」を締結した自治体から産出された木材（協定木材）の使用を推奨する。

5000㎡以上の建物に対し、延べ床面積1㎡につき0.001m<sup>3</sup>以上の木材を使うことを規定

## 目的

地球温暖化対策と森林整備の促進

1. 区内でのCO<sub>2</sub>固定量の増加
2. 協定自治体の森林整備の促進によるCO<sub>2</sub>吸収量の増加
3. 伐採後の確実な再植林を規定





# 認証材の普及にむけて

販路拡大の取組 〉 東京都港区との取組について

DAIKEN

東京都港区「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」

集合マンション物件向け床材

unium

協定自治体(紋別市・下川町・津別町)産の

トドマツをフローア基材部に活用!

北海道  
紋別市  
下川町  
津別町

→

エコ基礎「Eハードベース」

トドマツ基材部

トドマツ基材部を  
自然に活かす  
加工技術です。

※「Eハードベース」とは、環境にやさしい  
樹脂基材と MDF を組み合わせたエコ基材。

製品特長

すり傷や汚れを抑えて美しさを保つ塗装仕上げ。(突板仕様)

キャスターや車イスが使える高い耐傷性を備えています。

ワックスによる艶出し、保護は必要ありません。

表面は、突き板タイプとマンション等に多いシート化粧タイプをご用意。

■ 天然突き板仕様

港区用フォレストハード(突板)

サイズ・区分

構成

エコ基材「Eハードベース」に  
協定木材のトドマツ合板を  
使用しています。

12×303×1818mm  
JAS適合3種 F☆☆☆☆  
炭素化剤(オクタ、バーナ)

化粧材  
MDF2.7mm  
トドマツ合板9mm

※床裏面対応可能ですが、  
※ご要望により  
※国産材対応いたします。

■ 化粧シート仕様

港区用ダイハードアートEJ(シート)

サイズ・区分

構成

エコ基材「Eハードベース」に  
協定木材のトドマツ合板を  
使用しています。

12×145×1818mm  
JAS適合3種 F☆☆☆☆  
シート化粧

化粧材  
MDF2.7mm  
トドマツ合板9mm

※床裏面対応可能ですが、  
※ご要望により  
※国産材対応いたします。

DAIKEN

東京都港区「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」

文教・商業施設物件向け床材

unium

DAIKEN独自のWPC技術で

国産材をフローア表面仕上げ材に!

天然木の質感と傷への強さを両立した DAIKENのWPC技術

WPCとは、木材組織にプラスチックを注入・充填し、硬化させるDAIKEN  
独自の加工技術です。天然木の持つ自然な美しさや風合いをいっそう  
際立たせながら、同時に優れた耐摩耗性・耐傷性・耐汚染性を実現しました。

WPC  
WOOD PLASTIC COMBINATION

断面部  
プラスチック  
プラスチックで  
充填・硬化

断面部  
プラスチック

マイクロスコープ断面写真

製品特長

傷や汚れに強い  
WPC加工。

ご使用シーンに応じ、  
重歩行用と軽歩行用をご用意。

車イスが使える  
高い耐傷性を備えています。

■ 重歩行・土足用

港区用WPC 造張りフロア

サイズ・区分

構成

基材合板に協定木材の  
トドマツ合板を使用します。  
表面は国産材WPC突板  
(ナラ、カバ、ヒノキ、スギ)の  
使用を予定しています。  
※詳細についてはご相談ください。

12.5×90×905mm  
JAS適合1種 F☆☆☆☆  
底張り(裏面被覆材)  
WPC加工突板

国産材突板2mm  
トドマツ合板9mm  
緩衝材15mm

■ 軽歩行・上履き用

港区用WPC 集成フロア

サイズ・区分

構成

基材に協定木材  
(ヒノキ、スギ)を使用します。  
※詳細についてはご相談ください。

15×145×1818mm  
根太張り用、WPC加工

ヒノキ集成材15mm  
(変更可)

港区用WPC 単層無垢フロア

サイズ・区分

構成

基材に協定木材  
(ヒノキ、スギ)を使用します。  
※詳細についてはご相談ください。

15×90×1818mm  
根太張り用、WPC加工

スズ無垢材15mm  
(変更可)

大建工業株式会社

〒811-0000  
東京都港区新橋4-1-10 大建ビル 住友不動産新橋ビル内  
(集合住宅営業部) TEL.03-6271-7751 FAX.03-5296-4000  
(新規開発営業部) TEL.03-6271-7670 FAX.03-5296-4051

## 紋別市有林から間伐材を供給

- トドマツ原木 約 110 ㎡
- ナラ・タモ原木 約 20 ㎡

## 使用事例

- ブランズ六本木 (みなとモデル民間物件第1号)
- 東麻生区民協働スペース
- みなとパーク芝浦
- 六本木3丁目東地区第一種市街地再開発事業
- 田町駅東口北地区保育園
- 港区営住宅シティハイツ六本木





# 認証材の普及にむけて

販路拡大の取組 〉 首都圏での森林認証材普及モデル事業

城南支店特別企画

住友林業の森

北海道産材特別仕様

限定10棟

ご契約有効期限：平成24年11月末日 / ご着工有効期限：平成25年3月末日

紋別の森からの贈り物

北海道産材特別仕様

森の心地よさをあなたの住まいに—

特典1  
高性能構造材  
2000名産材認定取得  
北海道産材100%使用  
高まる森で育まれた  
安心でエコな  
北海道産材を堪能！

特典2  
北海道産材  
無垢フロア  
お好きな樹種を  
お選びいただけます。  
無垢の自然の風合いが楽しめる  
メジロカバ  
アロマの香りも楽しめる  
ミズナラ

特典3  
紋別の森  
ダイニングセット  
高級産材を使用した家具セット。  
豪華な木造邸宅の高級な空間に  
コーディネート！

SPECIAL PRESENT  
ご契約の方、全員に！  
紋別旅行へ  
ペアでご招待  
紋別の森でわが家の木材ができるまでを体験！

●雄大な体験  
●新材工場見学  
●その他観光  
※詳細はパンフレットをご覧ください。

ご予約・お問い合わせはお気軽に！  
0120-007-024

住友林業株式会社  
住宅事業本部 城南支店  
〒115-0027 東京都目黒区目黒4-10-1  
営業時間：月～金 9:00～17:00  
TEL 03-5717-6111  
FAX 03-5717-6112



## 目的・概要

紋別市内の木材製造業者が生産するSGEC森林認証製品の普及・拡大を図るため、首都圏の消費者がその製品を使い家を建てた場合、2泊3日、2名分の旅費を補助し、紋別市で林業体験をしてもらう。

費用については市と生産者（紋別木材協同組合）との折半で行う。

## ◀首都圏ハウスメーカー

住友林業(株)・古河林業(株)

# 認証材の普及にむけて

販路拡大の取組 > 首都圏へ木材を供給するにあつたての課題

1

## 北海道の針葉樹が使用されにくい状況

首都圏では、杉・ヒノキが主流であり、北海道のカラマツ・トドマツが知られていない。  
工務店や設計事務所などにもっとPRが必要と感じている。

2

## 見える部分での木材利用

下地合板だけではなく、見える部分での木材利用の推進。

3

## 環境に配慮され生産された木材の優先的使用

森林認証材を使用した企業等に対するメリット



# 認証材の普及に向けて

PRの取り組み ▶ オホーツク産森林認証材利用要請活動

森林認証材が多く使用されているため、東京オリンピック・パラリンピックでも、オホーツク産森林認証材が利用されるよう、平成27年2月に林野庁及び東京都に対して要請活動を行ってきました。



東京2020オリンピック・パラリンピック  
招致委員会HPより



# 認証材の普及に向けて

PRの取り組み ▶ オホーツク産森林認証材利用要請活動

## 「森林認証」全国の4割 ▶ オホーツク産材

## 東京五輪「PRの好機」

「森林認証」のお墨付きを得たオホーツク産の木材を2020年東京五輪・パラリンピックの施設建設に使ってもらおうと、オホーツク管内の関係者が売り込みを強めている。森林認証は適切に管理された森林と切り出される木材に第三者機関がお墨付きを与える制度で、管内は全国の認証材の4割近くが集まる日本一の森林認証地帯。五輪を通じて森林認証制度を国内外にPRし、オホーツク産認証材の付加価値を高めたい狙いだ。

## 活用国、都に要請

付加価値高め需要増期待

今年2月、オホーツク管内の自治体や林業関係者らでつくる網走西部と網走東部の両流域森林・林業活性化協議会のメンバーが、林野庁と東京都オリンピック・パラリンピック準備局を訪ね、大会施設にオホーツク産の認証材を使ってもらうよう要請した。

網走西部流域森林・林業活性化協議会会長を務める紋別市の宮川良一市長は「オホーツクは認証材を大量に供給できる」と強調。

同行したオホーツク総合振興局林務課の担当者は、国や都の反応について「具体的な施設設計に向け、今後情報も寄せたい」と言っていたと、好感が持てたと語る。

森林認証への注目が高まるのは、12年のロンドン五輪以来、五輪の施設整備に

国産の木材は、価格の安い輸入材の流入に伴い、長期的な下落傾向が続いている。農林水産省の木材需給報告書（13年12月現在）によると、カラマツ中丸太の価格は1立方メートルあたり1万1400円、ビーク時の1980年に比べ4割程度下落した。

東京農業大生物産産学部の黒澤秀久学部長は、森林認証材の高付加価値化の課題を「消費者が森林認証制度をまだ知らないことが問題。差別化した森林認証材にお金を払ってくれるグリーンコンシューマー（環境に配慮した製品を選ぶ消費者）が必要」と指摘。森林認証制度を首都圏の消費者や住宅メーカーなどにアピールするため、東京五輪での認証材活用が「絶好の機会になる」と訴える。

ただ、森林認証の取得が、木材の高付加価値化に直結するかは不透明だ。09年に森林認証を取得した「21世紀循環の森」つくり推進協議会（釧路市、釧路市）の会長を務める、新生緑林組合の小林満組合長は「森林認証を取っただけでは、木材価格に反映されない」と指摘する。

道内の主な森林認証の取得状況（2014年）



森林認証制度 環境に配慮して適切に管理されている森林や、そこから生産される木材に、第三者機関がお墨付きを与える制度。国内では国際規格の「森林管理協議会（FSC）」や「日本林業規格（JAS）」の2つの認証制度がある。

管内は約62万㌦で全体の37%。道内では、03年に上川管内下川町が森林認証を取得したのを皮切りに認証材が約91万㌦に拡大していき、うち管内が7割近くを占める。管内にはFSC、JASの両方の認証エリアがあり、今年北見市が市有林で取得を目指すのはSGEC。釧路市の21世紀循環の森づくり推進協議会が09年に取得したのもSGECの森林認証だ。

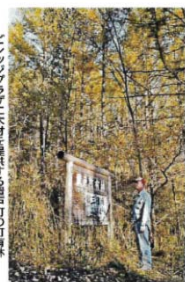


林野庁担当者に、東京五輪での認証材活用を要請する紋別市の宮川市長（左から3人目）ら＝2月（オホーツク総合振興局提供）

# 認証材の普及に向けて

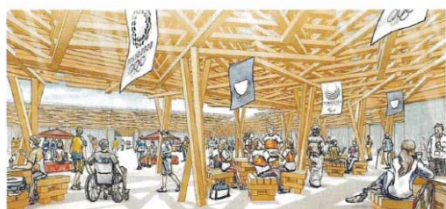
PRの取り組み 〉 オホーツク産森林認証材利用要請活動

東京五輪・パラ施設に紋別・遠軽・置戸の木材使用へ



レジン材に木材を提供する置戸町の町民林

地元歓喜「レガシーでも活用」



▲木材をふんだんに使った東京五輪・パラ競技場  
プラザの完成イメージ（東京2020提供）

遠軽町  
紋別町  
置戸町

## オホーツク材世界にPR

2020年東京五輪・パラリンピック競技場建設に際し、オホーツク産の木材が、東京五輪・パラリンピック競技場建設に活用される。オホーツク産の木材は、遠軽町、置戸町、紋別町の木材が、東京五輪・パラリンピック競技場建設に活用される。オホーツク産の木材は、遠軽町、置戸町、紋別町の木材が、東京五輪・パラリンピック競技場建設に活用される。

紋別、置戸、遠軽、下川が提供

東京五輪選手村に道産材を

レジン材の建築製材

遠軽町は、地域の木材を、遠軽町、置戸町、紋別町の木材が、東京五輪・パラリンピック競技場建設に活用される。オホーツク産の木材は、遠軽町、置戸町、紋別町の木材が、東京五輪・パラリンピック競技場建設に活用される。







# 認証材による地域おこしに向けて

今後に向けて

## ブランド化、PR、 情報発信

### ◆大消費地に向けた販路拡大

- ・北海道庁ロビーでの認証材展示（北海道庁）
- ・Japan Home and Building Showへの出展（東京都）
- ・東京都港区との連携
- ・公共施設等への採用

## 生産コストの低減

- ◆高性能林業機械の使用により、材の搬出を低コスト化し、資金を山に残す
- ◆高性能林業機械⇒2つ以上の処理能力を有する高能率の林業機械

	プロセッサ	
	枝払い機能、玉切り機能、集材機能	網走西部管内12台 保有(内紋別市内7台)
	ハーベスタ	
	伐倒機能、枝払い機能、玉切り機、能集材機能	網走西部管内13台 保有(内紋別市内7台)
	フェラバンチャ	
	伐倒作業機能、集材機能	網走西部管内7台 保有(内紋別市内5台)

## さらなる販路拡大を 目指して

- ◆森林認証材の海外輸出
- ◆バイオマス発電所による木材の有効利用
- ◆森林J-VERによる山への資金還元へ

# 認証材による地域おこしに向けて

今後に向けて > SGECとPEFCとの相互認証

## PEFCとは

持続可能な森林管理のために策定された国際基準(政府間パネル)に則って林業が実施されていることを第三者認証する「森林管理認証」、および、紙製品や木材製品など林産品に関して、森林管理認証を受けた森林から生産された木材やリサイクル材を原材料として一定の割合以上使用していることを第三者認証するCOC認証がある。



## SGECとPEFCとの相互認証

SGECは、PEFCとの相互承認によってSGECが国際認証制度として発展することを期し、2014年5月にPEFCへの加盟の申請を行い、その後、意見公募を行ったり、会議を開催したが、ついにPEFCとの相互承認の申請を2015年3月に行い、2016年6月3日に相互承認が認められた。

これにより、SGEC認証材は輸出しやすくなり、  
林業界の活性化に期待がもたれている。



# 認証材による地域おこしに向けて

今後に向けて > 生産コストの低減

## ○低コスト作業システム現地検討会

平成21年10月1日（約280名参加）

国内初導入となるドイツWELTE社製コンビマシン等を活用した実演会と同時に高性能林業機械等の展示会も開催した。



## ○高性能林業機械現地検討会

平成23年10月4日～5日（約200名参加）

国内初導入となるフィンランドPONSSE社製ハーベスター等を活用した現地検討会を開催した。



# 認証材による地域おこしに向けて

今後に向けて > カーボン・オフセットによる山への還元



**1 知って**  
温室効果  
ガス排出を知る。

**2 減らして**  
温室効果ガス排出を  
消滅する努力をする！

**3 オフセット（埋め合わせ）**  
どうしても減らせない分の排出量を、  
オフセット・クレジットでオフセット（埋め合わせ）。

平成 22 年 3 月 29 日

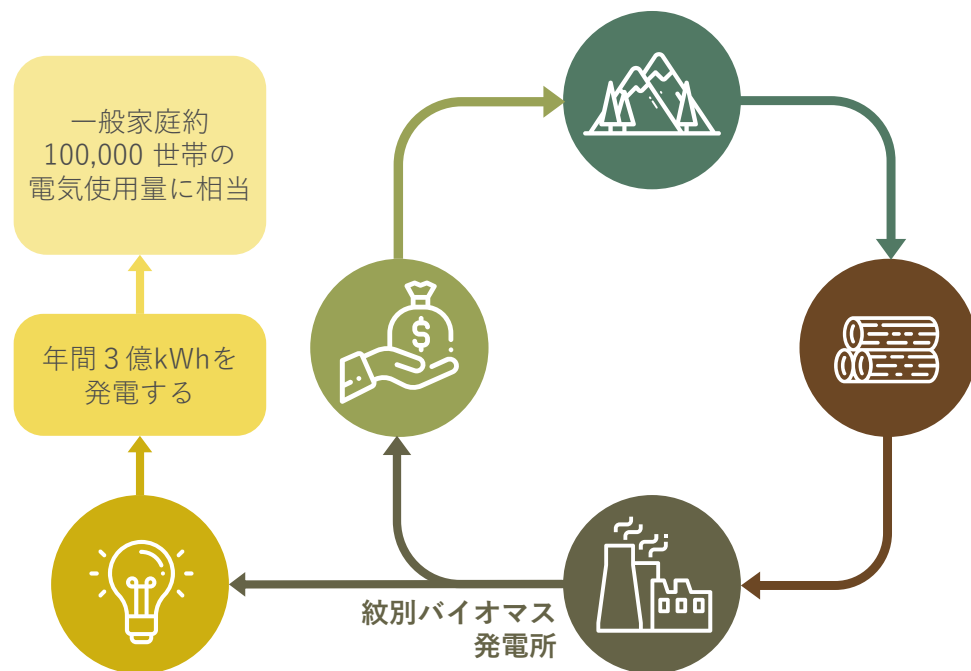
・紋別市は「**流水の森クレジット**」として、**J-クレジット**を取得しました！  
現在までに合計4,831 t を発行しました。（内バッファ分144 t）

平成 28 年 5 月 26-27 日

・三重県で開催された**G7伊勢志摩サミット**で排出された二酸化炭素をオフセット  
すべく、**紋別市のクレジット**を提供しました！

# 認証材による地域おこしに向けて

今後に向けて > 紋別バイオマス発電所による山への還元



山から出材された材（チップ）を燃料として、発電所が買取り、そのお金が山の所有者に入る事で、再び山の整備にお金をかけられる。それにより、良い山が育っていく、という流れができつつあります。

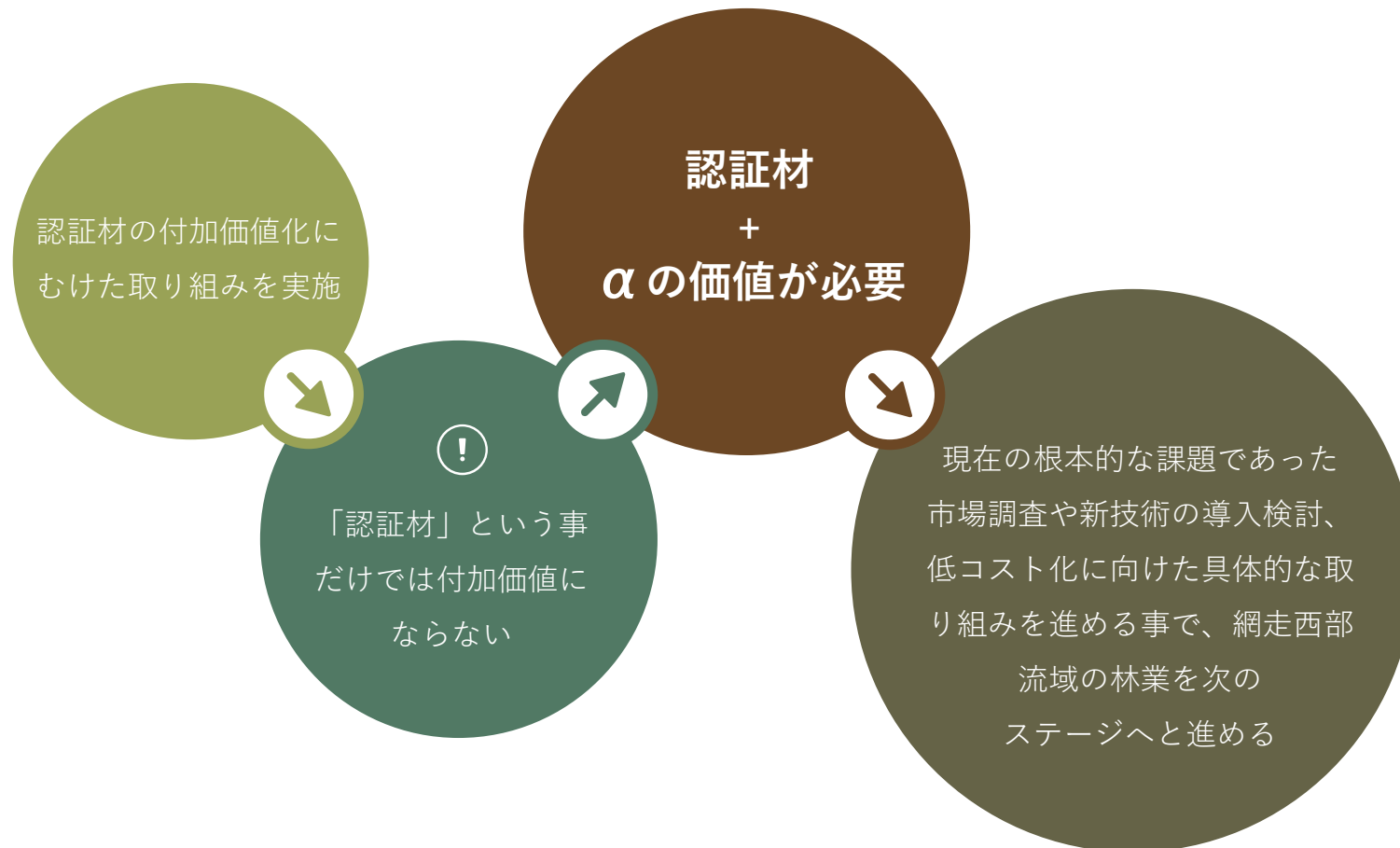


紋別バイオマス発電所 HP より



# 認証材による地域おこしに向けて

今後に向けて > 林業成長産業化地域創出モデル事業



# 認証材による地域おこしに向けて

今後に向けて > オホーツク発 Wood+α戦略

森林認証の新しいビジネスモデルの構築

ウッドバリューチェーンの構築（川下から川上へ）

## 1 付加価値を高めた 製材・製品の販売促進 〔環境価値、ツーリズム〕

首都圏における認証材の環境価値の創出  
首都圏企業のCSRに対するマーケティング  
調査、セミナーの開催

森林認証を活用した地域材ブランディング  
～“森ファン”“オホーツクファン”の発掘～  
森林認証の環境価値を活かしたプロモーション（モデルルームの活用、林業体験ツアー）

## 2 林業の新たな価値創造を 担う人材の育成 〔マーケティング〕



Woodコーディネーター

“「川下と川上」、「森林と消費者」  
を結ぶ地域のキーパーソン”



林業技術者の確保・育成

“環境に配慮した森林づくりを  
支える確かな技術”

## 3 森林資源の付加価値化にむけた 原木集荷・供給システムの構築 〔ICT、ものづくり〕

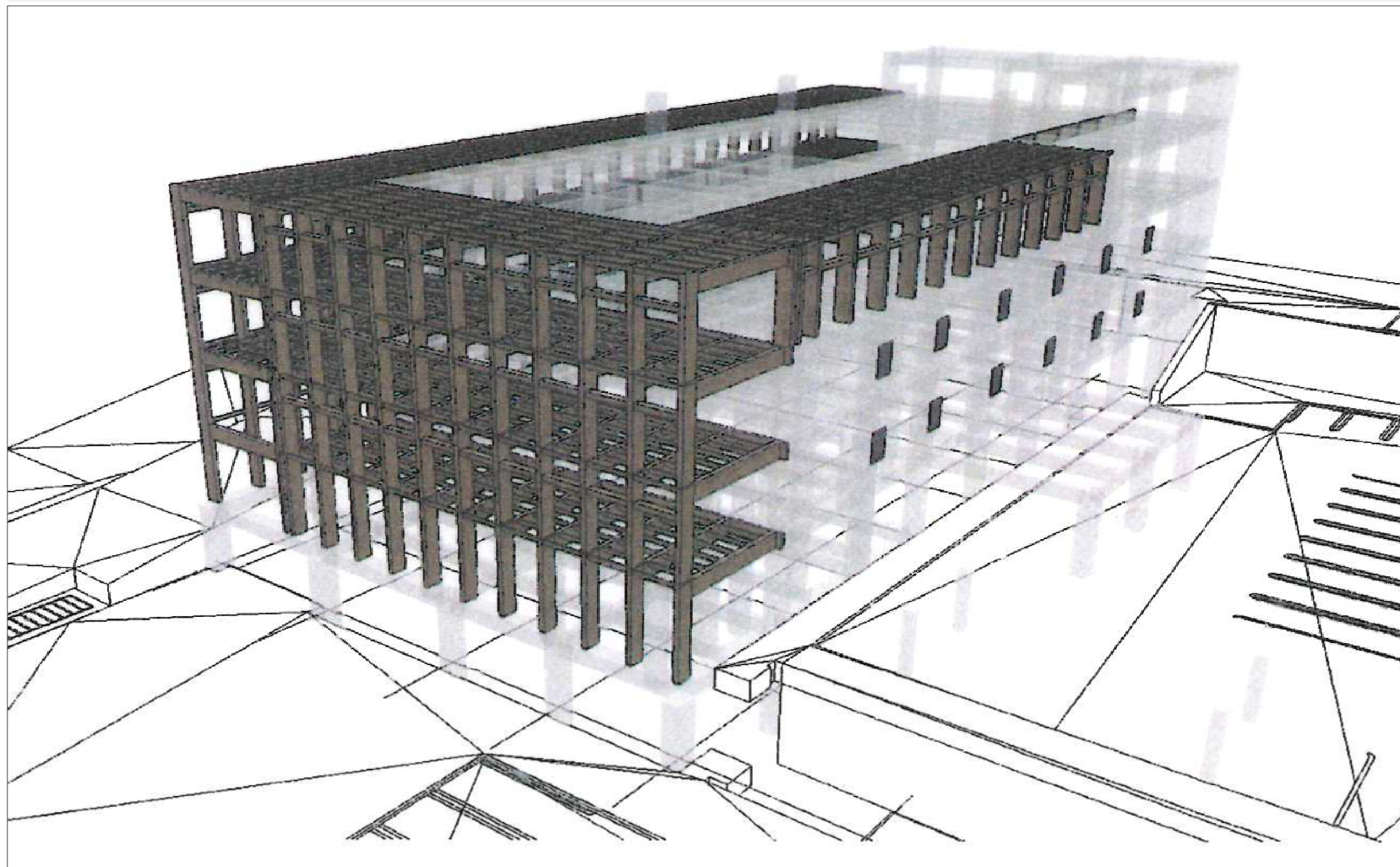
適切な森林施業の確保と

木材トレーサビリティシステムの構築

- ▶ 国有林・民有林のGISの統一【民国】
- ▶ 丸太検知システムによる検知作業の効率化
- ▶ 中間土場を活用した  
素材生産・流通システム【民国】
- ▶ コンテナ苗の活用及び造林作業の機械化による省力化【民国】
- ▶ 高密路網作業システム

資源の大径化に合わせた生産体制、  
商品開発（CLTなど）

紋別市役所 新庁舎建設 ～ 令和8年8月頃完成予定







流水の妖精 クリオネ

ご清聴ありがとうございました